

豚の改良増殖目標（現行）

農林水産省

豚

(1) 改良目標

食料自給率の向上、自然循環機能の維持増進に配慮しつつ、生産コストの低減と消費者ニーズに合った良質で斉一性の高い豚肉生産に資するため、純粋種の遺伝的能力の改良の推進と併せて適正な交雑利用と飼養管理の改善を図ることとし、能力等に関する目標を次のとおりとする。

① 能力

ア 純粋種豚の繁殖能力及び産肉能力の向上に努めるものとする。

純粋種豚の能力に関する目標数値（全国平均）

	品 種	繁 殖 能 力		産 肉 能 力			
		育 成 頭 数	子 豚 総体重	1日平均 増 体 量	飼 料 要 求 率	背腰(ロース) の太さ	背脂肪層 の厚さ
		頭	kg	g		cm ²	cm
現 在	パークシャー	8.0	31	720	3.5	31	2.1
	ランドレース	9.4	39	810	3.3	36	1.7
	大ヨークシャー	9.6	41	860	3.2	35	1.9
	デュロック	8.8	34	850	3.2	38	1.8
目 標 22 年 度	パークシャー	9.0	37	750	3.3	33	2.0
	ランドレース	10.5	43	850	3.1	36	1.7
	大ヨークシャー	11.0	46	870	3.1	36	1.7
	デュロック	9.5	40	870	3.1	40	1.6

- 注：1) 繁殖能力の数値は、分娩後2週齢時の母豚1頭当たりのものである。
 2) 産肉能力の数値は、雄豚の産肉能力検定（直接検定）のものである。
 3) 1日平均増体量及び飼料要求率の数値は、体重30kgから105kgまでの間のものである。
 4) 背腰（ロース）の太さ及び背脂肪層の厚さは、体重105kg到達時における体長2分の1部位のものである。

イ 肥育もと豚の効率的な生産を図るため、強健で耐用年数が長く、連産性等繁殖能力の優れた母豚の生産に努めるものとする。

肥育もと豚生産用母豚の能力に関する目標数値（全国平均）

	1腹当たり 生産頭数	育成率	年間分娩回数	1母豚当たり 年間離乳頭数
現在	頭 9.9	% 91	回 2.2	頭 19.8
目標 (22年度)	10.8	93	2.3	23.1

注：育成率は、離乳時のものである。

- ウ 脂肪量が適度な良質で斉一性の高い豚肉の生産を図るため、品種等の特性に応じた効率的な肥育により適正な日齢及び体重での出荷に努めるものとする。

肥育豚の能力に関する目標数値（全国平均）

	出荷日齢	出荷体重	飼料要求率
現在	日 200	kg 108	3.0
目標 (22年度)	172	112	2.9

② 体型

能力の向上を支えるため、強健で肢蹄が強く、発育に応じて体各部の均称に優れ、飼養管理の容易なものにする。

③ 改良手法

ア 能力検定の実施と評価に基づき遺伝的能力の高い種豚の選抜及び利用を図るとともに、多様な特性を有する育種資源の確保に努めるものとする。

イ 高品質な豚肉の生産を行うため、能力及び斉一性の高い系統の造成を図るとともに、適正な交雑利用の推進に努めるものとする。

ウ 種豚の効率的な改良に資するため、人工授精の普及定着及びDNA解析等新技術の利用に努めるものとする。

④ その他

ア 防疫等衛生管理の徹底により、改良の推進及び生産性の向上に努めるものとする。

イ 食品残さ等未利用資源の利用を促進するため、飼料化のための低コスト技術の開発やその普及定着に努めるものとする。

ウ 畜産環境の改善に係る飼養管理技術の向上等に努めるとともに、家畜排せつ物の適正な処理とその利用を推進する。

(2) 増殖目標

豚肉の需要動向に留意した生産を行うことを旨として、総頭数は929万頭とする。